

一般社団法人日本家族性腫瘍学会 2017 年度第 1 回理事会 議事録

日 時：2017 年 4 月 26 日（水） 11:00～12:00

場 所：AP 品川 9 階 NO 会議室

出 席：富田尚裕、菅野康吉、田村和朗、石田秀行、大住省三、武田祐子、松原長秀、三木義男、
数間恵子（監事）

事務局、編集事務局：飛松

欠 席：青木大輔、石川秀樹、鈴木眞一、田村智英子、村上好恵、執印太郎（監事）

報告事項：

1. 事務局より 2016 年度会員数・年会費納入状況などについて報告があった。

2. 各種委員会報告

①菅野理事より総務委員会報告。

②財務委員会は特になし。

③将来検討委員会は特になし。

④会則委員会として、鈴木理事欠席。定款施行細則の作成が必要な旨確認。

⑤田村理事より専門医・FCC 制度委員会報告。

第 19 回後期セミナーにて発生した問題について説明。講師の発言の中で不適切なものがあつたと受講者から電話連絡があり、録画映像を確認したところ、一部不適切な表現があつたことが確認された。またアンケート結果も精査した結果、他に複数の受講者が不快に感じている記載がみられた。

家族性腫瘍セミナー小委員会 吉田輝彦委員長が指摘をいただいた受講者に連絡をとり、お詫びをし、納得いただけた。今後の講師選定など配慮していく必要がある。

⑥石田理事より編集委員会報告があつた。20 周年記念号に寄稿いただいた論文の 1 つに、個人の誹謗中傷が見受けられる記述があり、調整後、再投稿をお願いしている。

田村和朗理事が担当として、若干修正の後、次号に特別寄稿として掲載予定となっている。

⑦三木理事より学術・教育委員会報告。がん治療医認定医機構の教育セミナーに家族性腫瘍のレクチャーが設けられ、8 名の委員を選定し、現在テキスト作成中の旨、報告があつた。今後、学会との整合性として進めていく。

⑧武田理事より倫理審査委員会報告。外部委員のメンバーを調整中。ガイドライン委員会メンバーとあわせて依頼できればと考えている。

⑨大住理事よりガイドライン委員会報告。現在作成中となっており、ホームページリニューアルとあわせて、内容を一新したい旨、説明があつた。

⑩大住理事より利益相反（COI）委員会報告があつた。理事・監事は全員、申告書類の提出が必要。第 23 回学術集会から正式運用開始とする。

⑪国際委員会は特になし。

⑫遺伝カウンセリング委員会は特になし。

⑬広報委員会は特になし。

3. 松原長秀、田村智英子両会長より、第 24 回（2018 年）学術集会開催案内があつた。

審議事項

1. 菅野理事より 2016 年事業報告について説明があり、承認された。

2. 青木理事が欠席のため、田村和朗理事より代理にて 2016 年会計報告・監査報告について資料提示・説明があり、いくつかの指摘があり、訂正する形で承認された。
3. 菅野理事より 2017 年度事業計画について説明があり、承認された。
4. 菅野理事より 2017 年度予算案について説明・確認があり、繰越金の記載に決算額との齟齬があるとの指摘があり、また、一般会計および特別会計の繰越金の細目についても修正が必要との指摘があり、修正後、8 月の理事会に再度提出することとした。
5. 田村和朗理事より家族性腫瘍専門医制度について説明があった。
規則・細則・暫定申請・カリキュラムおよび 10 年間をみこしたタイムスケジュールについて説明があり、承認された。この後の評議員会（社員総会）に諮ることとする。